

## 小規模多機能型居宅介護 プチとまとちゃん（禪 株式会社）

にし かわ みつる  
西川 充 代表



### バラ園のある空間

尼崎センタープールの北にある「プチとまとちゃん」。名前からは想像しづらいが、小規模多機能型居宅介護の施設だ。要介護認定をうけた方が、住みなれた地域で生活を継続できるように、デイサービス、訪問サービス、宿泊サービスを柔軟に組み合わせたサービスを提供している。

大通りからは奥まった閑静なエリアにある。近くの水明公園にはバラ園があり、花の季節には恰好の散歩コースとなる。隣接する幼稚園の園児から、「おじいちゃん」「おばあちゃん」とあいさつされることがあり、利用者の気持ちもぱっと明るくなるという。「プチとまとちゃん」の建物も、内装には所々ステンドグラスも用られる、高齢者施設のイメージとは異なったものだ。

### その人らしく過ごす

「プチとまとちゃん」を運営する禪株式会社の代表・西川充氏は、いつも「自分の母が受けるサービスだとしたら？」と自らに問いかけ、「利用者がその人らしい生活を送れること」を大切にしている。例えば、時間割は決めない。利用者はテレビを見たり、読書をしたりして過ごし、長く家事を担ってきた人には、スタッフが見守りながら、料理をすることもあるそうだ。

入浴も「寝る前に入りたい」という声に応え、曜日で決めていた入浴日をやめ、入浴の時間帯もやや遅めに変更した。西川代表やスタッフの負担は増えたが、要介護になって「これまでの生活リズムを一変させられることを思えば、ずっとよい」と続けているという。また、施設内に排泄物のに

おいをさせないことも徹底している。

介護職の人材採用の面では、西川代表は介護職にこだわらず、食事の準備や清掃について求人を出している。そして、働きながら施設内の様子や利用者について知ってもらい、そのなかから介護職に関心を持った人を、介護スタッフに育てている。食事や清掃の仕事なら、あまり年齢にこだわらなくてもよいことも有利だ。このようにして介護職になったスタッフには60～70代の元気な女性もいて、「世代が近いので話題が合う」と利用者からも親しまれているそうだ。

### 他業種出身ならではの発想を大切に

「この仕事楽しい。自分の原点だ」という西川氏。実は、大手証券会社の出身だ。勤務していた会社が廃業した後、福祉の世界へ転職した。大阪市の事業所で経験を積み、2007年、設立半年だった「プチとまとちゃん」の経営会社に入社。施設立ち上げから関わってきた。その後、同社が経営を退くことになり、西川氏が禪株式会社を設立して経営を引き継ぐことになった。

他業種出身だからこそできる発想を大切に、利用者の希望を叶える新事業にも取り組んでいきたいと、意気込みを話してくれた。

#### 企業情報

代表者プロフィール：50代・男性  
創業：2013年2月  
事業内容：小規模多機能型居宅介護  
「プチとまとちゃん」の運営  
従業員数：約20人（パートを含む）  
所在地：尼崎市大庄中通5-14-17  
電話：06-6417-6500  
ホームページ：<https://www.facebook.com/Puchitomatochan>